

カルシウム剤

日本薬局方 リン酸水素カルシウム水和物

「山善」第二リン灰

【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

- (1) 高カルシウム血症の患者〔症状が悪化するおそれがある〕
- (2) 腎結石のある患者〔腎結石が悪化するおそれがある〕
- (3) 重篤な腎不全のある患者〔組織への石灰沈着を助長するおそれがある〕

【組成・性状】

組成：本品 1g 中、日局リン酸水素カルシウム水和物 1g を含有する。

性状：本品は白色の結晶性粉末で、におい及び味はない。水、エタノール（95）又はジエチルエーテルにはほとんど溶けない。希塩酸又は希硝酸に溶ける。

【効能・効果】

下記代謝性骨疾患におけるカルシウムの補給

くる病、骨粗鬆症、骨軟化症

妊婦、授乳時におけるカルシウム補給

【用法・用量】

通常成人 1日 3g を 3回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者〔高カルシウム血症があらわれやすい〕
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者〔これらの作用を増強するおそれがある〕
- (3) 高カルシウム血症のあらわれやすい病態の患者

2. 重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系 抗生物質	併用薬剤の吸収を阻害することがあるので、投与間隔をできるだけあけるなど注意すること。	本剤と難溶性のキレートを形成し、吸収を阻害すると考えられる。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

【薬効薬理】

妊娠、授乳、骨カルシウム沈着減少時などカルシウムとリン酸塩の要求が増すときに、カルシウムとリン酸塩の補給源として一般に用いられている。胃腸から吸収される程度は、グルコン酸又は乳酸塩に劣るといわれている。カルシウムのみが必要なときはグルコン酸カルシウムや乳酸カルシウムの方が優れている。しかし食物強化としてカルシウム及びリン酸塩の双方が必要であるときには本品が用いられる。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：リン酸水素カルシウム水和物

分子式：CaHPO₄・2H₂O

分子量：172.09

【包装】 500g

【主要文献】 第16改正日本薬局方解説書（2011）（廣川書店）

【文献請求先】 山善製薬株式会社 学術室 TEL06-6231-1821 FAX06-6231-1824
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号

製造販売元

 **山善製薬株式会社**
大阪市中央区道修町2丁目2番4号

